



【第25回マイルCS南部杯(JpnI)】優勝！ エスポワールシチー G1・7勝目

10月8日、盛岡競馬場で開催された地方競馬の重賞(JpnI)競走、第25回マイルチャンピオンシップ南部杯で(有)幾千世牧場生産馬エスポワールシチー号が優勝しました。

4コーナーで先頭に立つと、直線では後続を突き放し、2着に4馬身差をつけて快勝した。これで、エスポワールシチー号は、同レース2勝目、地方・中央併せてG1レース7勝目となった。

自宅のテレビの前で応援していた家族や関係者の皆さんは優勝を喜んでいました。



沙流太ほおずき絆の会と富川高校生による ほおずきの収穫作業と試食会

10月4日、沙流太ほおずき絆の会(降幡治男会長)と富川高校生徒が富川東の畑に6月末に苗植えを行った、ほおずきが収穫時期を迎え、アドバイザーの日高農業改良普及センター日高西部支所の吉岡所長から説明を受けながら、富高生が収穫作業を行いました。

作業後、沙留太生活館に移動し、収穫してから1週間ほど寝かせて甘みの増したほおずきを富高生と地域の皆さんとで試食をしました。今後は町内の洋菓子店と協力してスイーツ作りなど食用ほおずきの商品化を目指していきます。



井上和子さん北海道社会貢献賞を受賞 社会福祉事業進展への貢献を讃え

井上和子さん(本町東)が知事表彰である北海道社会貢献賞(社会事業関係功労者)を受賞され、10月15日、日高総合支所大会議室にて三輪町長より表彰状と記念品が手渡されました。

井上さんは、平成元年12月から現在に至るまで、日高町民生委員児童委員協議会の副会長等を勤められ、社会福祉事業の進展に貢献いただきました。その他、保護司の経歴もあり、長きにわたり町のためにご尽力いただいています。



門別本町地区で大津波警報発令と想定 地震・津波防災訓練を実施

10月10日、門別本町地区において防災訓練が行われ、約200人の住民が徒歩や車で避難場所の高台に避難しました。

防災無線や消防広報車による呼び掛けに住民は指定避難場所の門別中学校、門別自然公園などに迅速に避難しました。二次避難所の門別総合町民センターでは閉会式が行われ、防災講話や三輪町長による防災行政執行状況説明。講評では高柳消防長が「津波の際は一刻も早く高台に避難を」と訴えました。この日は、ボランティア連絡協議会による炊き出し訓練も行われ、訓練終了後に「おにぎり」も配られました。



日高地区「宮下町第1町内会」・「栄町東町内会」合同 災害図上訓練(DIG)を実施

10月26日、日高地区で自主防災組織の宮下町第1町内会(小西馨会長)と、組織立ち上げ中の栄町東町内会(高岡昇会長)が合同で災害図上訓練(DIG)をこもればいホールで実施しました。

消防署日高支署の職員が講師となり、震度6強の地震が発生したことを想定。地震発生直後の行動や避難勧告発令後、避難所に何を持って逃げるか、地図に避難所までの経路を記入し、具体的な対応を確認し合いました。



「第73回菊花賞(G1)」優勝！

ゴールドシップ クラシック2冠制覇！

10月21日、京都競馬場で開催された中央競馬G1競走、第73回菊花賞で字賀張の(有)出口牧場生産馬ゴールドシップ号が優勝し、牧場にはたくさんの方が訪れて祝福しました。

ゴールドシップ号は、最後方からレースを進め2周目の3コーナー手前から仕掛け4コーナー手前で先頭にたち、そのまま快勝した。これでゴールドシップ号は皐月賞と菊花賞の2冠制覇となった。

出口俊一社長は京都競馬場で応援。自宅のテレビの前で応援していた家族や関係者の皆さんは優勝を喜んでいました。



北海道電気保安協会と災害時協力協定締結 災害時の電気使用設備等復旧に協力

10月31日、北海道電気保安協会と災害時における電気設備等応急対策活動に関する協定を締結しました。

これにより自然災害や大規模な停電など重大な事故が発生した場合や発生するおそれがある場合に、町の要請により電気保安協会が公共施設の電気使用設備の安全点検や検査を実施し、迅速な災害復旧活動のため協力していただけるようになりました。

町長室で協定書の手交式が行われ、町長は「災害時の電源確保は最重要であり、協力が得られることになり大変心強い」と挨拶しました。



株式会社手塚組様による地域貢献活動 三和小学校跡地周辺整備を実施

10月30日、株式会社手塚組(浦河町)様により地域貢献活動の一環として、三和小学校跡地及び墓地の道路整備工事、エゾヤマザクラの植樹等を行っていただきました。

経年により土砂等が堆積していた道路を整備し、植樹をしていただき、今後は墓地へ行くのもきれいな道路で、歩きやすくなりました。